

(様式3)

## 令和4年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	小俣児童館・小俣放課後児童クラブ	所在地	伊勢市小俣町元町662-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	児童館事業: 児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し情操を豊かにするため 放課後児童クラブ事業: 就労等により昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図るため		
業務内容	・職員の雇用に関すること ・伊勢市小俣児童館の事業に関すること ・伊勢市小俣放課後児童クラブの事業に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること(清掃業務、警備業務、施設等修繕業務 等) ・伊勢市小俣放課後児童クラブ第2及び第3の業務委託を別途受託できること ・その他業務に関すること(危機管理及び個人情報保護、守秘義務、情報公開 等)		
施設概要	平成3年4月完成 敷地面積419㎡、建築面積157.74㎡、延べ床面積257.72㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 定員70名		
職員体制	館長 兼 放課後児童支援員 1名 児童の遊びを指導する者 兼 放課後児童支援員 12名 補助員 13名		
施設所管課名	子育て応援課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	19,498,000	20,123,000	22,119,700	1,996,700
		利用料金	3,682,700	4,018,100	3,874,100	△ 144,000
		その他	2,099,840	3,753,006	1,985,576	△ 1,767,430
		計(a)	25,280,540	27,894,106	27,979,376	85,270
	支出	人件費	17,461,394	16,842,659	15,745,433	△ 1,097,226
		管理運営費	3,697,825	4,643,429	5,875,634	1,232,205
		その他	63,156	1,028,918	1,068,210	39,292
		計(b)	21,222,375	22,515,006	22,689,277	174,271
	収支差引額(a)-(b)		4,058,165	5,379,100	5,290,099	△ 89,001

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	指定管理料の増については、障がい児受入に係る業務委託料の増である。後半利用者が減となってしまったことにより、人件費等も減となった。
----------------------------------	---

3 評価（別表様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
<p>事業計画書に従った管理を行った。</p> <p>「子どもの居場所」として機能するため、児童館として、各種教室やイベントを企画した。後半学級閉鎖はあったもののコロナウイルスによる休校もなく、感染予防を徹底し留意した結果、昨年度より利用者数が増になった。</p> <p>放課後児童クラブは、後半学級閉鎖はあったが休校もなく、通常通りコロナ感染予防対策を整えた上で、働く保護者に寄り添った。</p> <p>児童館の行事としては、コロナ感染予防対策を整えた上で工作教室、おはなし会、ドッジボール大会等を開催し、「子どもたちの笑顔」を目標に、2部制や3部制にしながらも、前向きに取り組んだ。</p> <p>「児童館まつり」は時期はずらしたものの2部制にし、たくさんのボランティアの協力の下開催した結果、R3年度より参加人数も増え、子ども達や保護者からの期待度を感じた。また、防災体験として伊勢市消防本部協力の下「煙体験車」で「火事の怖さ」「煙の恐ろしさ」を体験し「防災を考える機会」となることを期待した。</p> <p>「ハロウィンイベント」も3年ぶりに近隣住民のお宅を一軒一軒回って、コロナ前のようなイベントが開催できた。小学校の体育館をスタートして、地域の皆様のご協力の下、可愛い衣装の子ども達が近隣を歩き回っていた。</p> <p>児童館まつり、ハロウィンとも明野高校の生徒はじめ、皇學館大学の皆さん、民生委員、児童委員の皆さんやボランティアの皆さんのご協力の下開催することができた。</p> <p>ボランティアによる、陶芸教室や茶道教室は、三密に留意しながら開催し、高齢の方たちと交流したり、茶道教室の中でお茶の点て方や作法等学ぶことができた。</p> <p>夏恒例の「きもだめし大会」も皇學館大学の生徒の皆さんのご協力により開催することができた。4部制にし、感染予防対策を整え開催したが、予想を上回る希望者があった。子どもだけでなく、保護者の方々もご参加いただき、子ども以上に驚いていた保護者もあり、親子で楽しんでいただいた。</p> <p>星空観察会は9月に開催した。小学校校庭から土星や月を天体望遠鏡で観察した。秋は空気が澄み、星が一層輝きを増し、魅惑的な夜空を親子で魅了されていた。</p> <p>みえこどもの城の移動児童館による工作教室は、2部制にしながら2回開催した。</p>	<p>施設の管理については適正に行われていた。</p> <p>事業については、新型コロナウイルス感染対策により活動の制限があったが、中でもできることを模索し、形を変えて実施し、利用者や保護者から好評を得ていることは評価できる。</p> <p>「児童館まつり」「煙体験車」「ハロウィンイベント」などの行事や児童館食堂のテイクアウトやボランティアによる陶芸教室や茶道教室など、コロナ禍でも事業を成功させていることは大きく評価できる。</p> <p>安全管理についての意識も高く、引き続き防災・防犯に備えた訓練や安全管理の徹底に努められたい。</p> <p>また、市へのホウ・レン・ソウも逐一あり、現場の意向をすぐに把握できる体制にあることは評価したい。</p> <p>今後も様々な取り組みを継続していただき、利用者のニーズに沿ったサービスが提供できるよう期待したい。</p>

指定管理者	市
<p>令和元年から月1回、孤食化や貧困家庭を視野に入れつつ、民生委員や地域住民、明野高校生徒のボランティアのご協力の下開催してきた「児童館食堂」は、開催は10回(テイクアウト限定開催含む)となった。「5人分」と言って大きな蓋つき容器を持参される方もあり家族で楽しみにしてくれている様子が伺えた。</p> <p>皇學館大学ボランティアのご協力の下開催している「クラブ☆よさこい」も、町内のまつりすべてが中止となってしまったため、小学校の体育館をお借りして、児童館の発表会を開催し保護者に披露し、親子ともに喜んでいただいた。</p> <p>幼児親子から小学生を対象にした「リトミック教室」や「キッズダンス教室」を開催し親子ともに楽しんでいただけた。特に、キッズダンスは、事前に子ども達から「リクエスト」を聞き、流行っている曲を取り入れたところ、子ども達は瞬時にダンスを覚え完璧に踊り大盛り上がりであった。</p> <p>毎月1回開催している「中高生タイム」は高校生の利用はないものの、中学生が遊びに来てくれたり、勉強をしに来たりする場になってきている。「児童館食堂」と同日であるため、カレーを振舞った結果、「児童館のカレーはうまい！」と喜んでくれていた。</p> <p>放課後児童クラブとして、毎月の誕生会や習字教室や年末のクリスマス会等は、各クラブで開催し児童、保護者共に喜んでいただいた。</p> <p>働く保護者の負担軽減を考え、「らくらくランチサービス」と称し、ワンコイン500円にて日替わり宅配弁当を提供しているが、保護者、児童共に大変喜ばれた。特に保護者からは、「ありがたい」と喜ばれている。</p> <p>年間を通し身の安全を守る対処の方法、防災、防犯の意識を向上させるため、児童館、放課後児童クラブともに災害や防犯に備えた避難訓練を月1回実施した。</p> <p>職員の資質の向上のため研修会に積極的に参加し、各自が自己研鑽に励んだ。</p> <p>今後も児童、保護者のニーズに沿った事業等を開催していきたい。</p>	

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにする施設として、円滑な運営を行った。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	学級閉鎖もあったが、令和3年度の児童館の利用者が3,246人であったのに対し、令和4年度は3,734人であり、約490人の増となった。行事等を延期することもあったが「子どもたちの笑顔」のため前向きに、開催しようとした結果であると考えている。前年度と比較して「利用者増」を目標としてきたため、目標は達成した。	A	新型コロナウイルス感染症による規制もゆるやかになり、徐々に活動ができるようになってきた。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	令和3年度の児童館開館日数は264日。今年度は293日で、新型コロナウイルス感染予防対策による休館日がなかったためである。児童館開館時間は11時～18時。児童クラブ開館日は293日であり、就労している保護者に寄り添い、4月1日から学校休校日においても開館し長時間保育を行った。放課後児童クラブ開館時間は放課後～18時。土曜、長期休業日8時～18時まで開館した。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	事務分担票を設定し、適正な配置・勤務を行った。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制は明確になっていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	随時子育て応援課と連絡を取り、連絡調整を行った。また、月報および配布物を市へ提出し、業務全体が把握できるよう対応した。	A	報告・連絡・相談等、速やかに連絡を行い、意思疎通を図っていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	毎日業務日誌報告書に各種記録を記入し、決裁後保管を適正に行った。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	「児童館まつり」「ハロウィンイベント」「きもだめし大会」を開催した。いずれも、予想を上回る参加希望者があり、2部制や3部制にしながら感染予防対策を整え開催したことで、児童、保護者共に喜んでいただいた。幼児から大人までの方々に参加していただき、児童たちの笑顔に触れることができた。「ハロウィン」については3年ぶりに地域のお宅を1軒1軒お邪魔し、地域住民もイベントに参加しながら、参加者を見守っていただき、地域の中を仮装した子ども達が歩き回った。月1回開催予定の「児童館食堂」は、子どもの孤食化や貧困家庭を視野に入れつつ、地域の方々からカレーを無料で提供し喜ばれた。テイクアウトを取り入れながら、継続することを目標に前向きに取り組んだ結果10回開催できた。「5人分」と大きな蓋つき容器を持参する家族もいて皆さんで楽しみにしていた様子が見えた。皇學館大学のボランティアによる「クラブ☆よさこい」も町内の「まつり」はすべて中止になったため、小学校体育館をお借りして日頃の練習の成果を保護者に披露し、親子とも喜んでいただいた。明野高校、皇學館大学、民生委員、児童委員、ボランティアの方々にご協力いただきながら数々の行事を開催できたことは、良好な関係が築かれていると思っている。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限される中で例年の活動における「できること」を模索し、実施した。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱は個人情報の点からも適正、慎重に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	代金回収サービスを活用し、利用者負担のかからない方法で行えた。医療費受給者資格がある保護者には減免をおこない、帳簿を作成し適正に行うことができた。	A	帳簿は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	パソコン等の保管方法や名簿等の個人情報の取扱いは慎重に行うため施錠できる引き出しへ保管した。また、ブログ等に写真を掲載する際にも注意書きをし、配慮している。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	地方自治法、児童福祉法や児童館ガイドライン等各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	「児童館まつり」「ハロウィンイベント」「きもだめし大会」を環境を整うた上で開催したことにより、利用者増につながったと考える。「児童館食堂」も10回開催できた。コロナ禍におけるイベント等のあり方を検討し、対策を万全に期した上で、「子ども達や地域の方々」に喜んでいただきたいとの思いから、イベントを前向きに開催し続ける努力を継続した。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限されていたが、できることを考え、取り組みできた。
	②利用者の平等な利用	B	サービスの水準を確保するため、業務日誌や連絡ノートでの情報の共有を図ったり、月1回のミーティング等や随時職員間で話し合ったり、研修に参加したり、適切な対応ができるよう努めた。新規職員も多数あり、できる限り常勤職員と非常勤職員との対応に差が生じないように、情報の共有に努め、利用者にとって一定のサービスの水準を確保するよう努力した。	A	サービス水準については、常に利用者目線に立ち、さまざまな企画を上げ、実施した。
	③適切な情報提供	A	児童館だよりや児童クラブだよりを始め、マメールでの情報提供、チラシやホームページを利用した情報提供を行った。また、放課後児童クラブ役員には、情報をいち早く提供し、相談しながら児童の育成に努めた。	A	掲示物やチラシなどの作成の際、見易さ・分かりやすさも視点に入れ、効果的な情報提供をしている。
	④非常時・緊急時の対応	A	社協職員用の緊急時のマニュアルを常備し緊急時に備えるようにし、児童には火災、地震、防犯等毎月テーマを決めた避難訓練を毎月実施して意識付けを行った。	A	毎月テーマを決めて実施し、緊急時の確認をとっている。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見、苦情に対しては、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。事故に関しては、「児童安全共済」「児童クラブ共済」を利用し、丁寧に説明し対応している。また、再発防止策や予防策を立て、安全確保に努めている。その結果児童館、児童クラブ共に0件であった。	A	適切な対応ができる体制ができている。また、事故発生時も保護者、市へ遅滞なく報告・対応しており、適切であった。
	⑥自主事業	A	毎年満足度調査を実施し、利用者のニーズの把握に心がけた。「児童館まつり」や「ハロウィンイベント」「きもだめし大会」を開催したが、予想を上回る参加希望者がありニーズに即した事業のいくつかが開催できたと考える。「児童館食堂」は、子どもたちの孤食化や貧困家庭等のことも念頭に継続し続けることができた。各種事業において、地域の高校、大学や民生委員、児童委員等のご協力の下開催できた事業であり、「地域の中での児童館」を改めて感じる事ができた。「児童館食堂」と同日に行っている「中高生タイム」も中学生が「ふら〜」と来たり、勉強道具を持参して来たりする場所となりつつある。「火災体験」として「煙体験車」で「火事の怖さ」「煙の恐ろしさ」を体験し「防災を考える機会」になってくれることを期待する。放課後児童クラブの事業として、「習字教室」や働く保護者の負担軽減を考え「らくらくランチサービス」と称し、宅配弁当を取り入れたことは大変喜ばれた。コロナ禍においても、できる限りニーズに即した事業を心がけた。今後もコロナに屈することなく、新たな取り組みにチャレンジしていきたい。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限されていたが、多岐にわたる事業を実施し、利用ニーズに応えている。
	⑦事業の評価	A	児童館まつりや各行事においては、事前ミーティング、反省会等、打ち合わせや確認見直し等も行っている。また、他の事業についても、事業報告書等を作成し次年度へつなげている。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、反省点等はすぐに確認し、改善を行っている。

(様式4)

### 指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	安全チェックシートを用いて、毎月点検し、異常が発生した場合は速やかに対応した。また、月報や日誌にも記録している。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに対応を行ない、月報や日誌に記録をとった。また、速やかに伊勢市に報告を行った。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	児童や職員ともに毎日掃除を行っている。その他、年末の大掃除に加え、季節ごとに職員が掃除を行った。	A	コロナ禍において清掃・消毒作業が常態化しているが、毎日実施し、利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は事務室に一括保管し管理している。館内にはセコムによる緊急通報装置を設置。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。